



日本ろう者柔道協会とは

一般社団法人日本ろう者柔道協会は、ろう者の柔道競技活動を通して、ろう者の社会参加活動を促進するとともに、ろう者自らも社会貢献活動を行い、ろう者の心身の健全な発達と活力のある日本社会の構築に寄与することを目的に、2019年12月27日に設立しました。

全国の約34万人の聴覚障害者（厚生労働省の調査）の中で、柔道競技に取り組むろうの選手は少なくありません。

選手たちは「世界ろう者柔道選手権大会」や“ろう者のオリンピック”と言われる「デフリンピック」への出場を目指し、日々、練習に励んでいます。

日本ろう者柔道協会の主な事業

- ▶ろう者の柔道競技の普及・発展・競技力の向上に関する事業
- ▶ろう者柔道競技大会の開催事業
- ▶ろう者の柔道に関する調査・研究事業
- ▶ろう者の国際柔道競技大会への代表選手選定・派遣事業
- ▶ろう者の柔道に関する広告・出版等の商品販売事業
- ▶ろう者の柔道に関する手話言語通訳者及び情報保障者の養成事業 等



左：手話言語通訳者 中：指導者
右：ろうの選手



ろうの柔道選手たちの夢

主に手話言語で会話をするろうの選手たちは、音声でのコミュニケーションではうまく伝わりません。また、柔道競技を行う時は、「きこえない」ことや「コミュニケーション」がバリアとなります。

例えば、柔道の技術を学ぶときに指導者とのコミュニケーションで困ります。それに、一般の柔道大会では、試合の時、審判員からの合図がきこえません。

でも、デフリンピックや世界ろう者柔道選手権大会では、世界のろうの選手たちが同じきこえない公平な立場で闘えるのです。

その国際的な舞台でメダルを獲得し、たくさんのきこえない子どもたちに柔道の魅力を知り夢を持ってほしいと、ろうの選手たちは日々、練習に取り組んでいます。

ろうの柔道選手たちには、そんな大きな夢と目標があります。ぜひ、柔道をしているきこえないあなたも、共に夢を追いかけてみませんか？

ろうの柔道選手たちへのサポート

ろうの選手たちが柔道の技と技術を極めていくためには、理解ある指導者や支援者からのサポートが必要となります。

また、当協会はろうの選手のコミュニケーションバリアを無くすために、強化合宿等で指導者からろうの選手への指導を行うときや栄養指導、体調管理等の相談等に、手話言語通訳者や要約筆記者を配置する等、支援を行っています。

また、デフリンピックや世界ろう者柔道選手権大会へ、日本代表を派遣しています。しかし、ろうの選手たちは国内外の遠征費用等の負担が大きいため、それに対するサポートも必要になります。

ろうの選手たちをぜひサポートしていただければ嬉しいです、私たちは皆様からの温かい応援を心待ちにしています。